

ボラセン情報

H24.8.30 No.4

南城市ボランティアセンター
南城市社会福祉協議会
〒901-1206 南城市大里字仲間918
(南城市総合保健福祉センター内)
TEL 098-882-8861

ボランティア活動推進校
研修会を開催しました

8月3日(金)、市内のボランティア活動推進校の小学生やボランティアの心ある教諭、福祉教育に関心のある教諭を対象に、福祉や障がい者への認識・理解を深める目的で研修会を行いました。この研修会では、沖縄福祉教育研究会より視覚障がい当事者の横田氏と車イス当事者の清氏を講師に迎え、講話やフィールドワークを行いました。



アイマスクをつけて折り紙体験

午前部の活動は、沖縄福祉教育研究会のDVD「幸せいっぱい町」を見ながら、障がい者理解や福祉について講話を聞き、質疑応答やアイマスク体験を行いました。視覚障がい者、車イス当事者の体験を通



車イス操作の体験中

して相手の気持ちを考えて、さっかけとなりまし。また、ボランティアのまち総合保健福祉センター内を講師と一緒に回り、施設内が障がい者にとっになって利用しやすい施設になってしまっているかを確認していただきました。今回の研修会を受けて、私たちが普段何気なく生活したりしているところにも、バリアがあるところや、街中には困っている方が多くいることを知った参加者からは、「これからは、街中で困っている方がいたら積極的に声をかけた方がいい。」「疑似体験をしたことで、普段生活している場所にはどのようなバリアがあるか考えるきっかけになった。」といった感想が聞かれました。参加者は受講する前後で大きな気持ちの変化があったようです。

12名の受講者へ
修了証書

「南城市社協 介護入門講座」が7月10日(27日まで全5回)シリーズで行われました。この講座では、在宅介護に必要な知識や技術を各講師が分かりやすく解説しました。

第4回の講座は「認知症について(認知症サポーター養成講座)」と題し、佐敷にある認知症グループホーム「美ら里さしき」から徳盛裕元氏を講師に招き、認知症の種類や症状、患者に対する対応の仕方を学びました。受講生からは、「認知症の人は皆の協力と支えがあれば地域で生活ができる事が分かりました」といった感想がありました。



徳盛氏による分かりやすい認知症サポーター養成講座

り修了証書が手渡され、阿嘉会長は、「この講座で学んだことを在宅の現場やボランティア活動として活かして下さい」と激励の言葉をかけました。受講者を代表して小嶋弘さんは「身の回りには在宅介護をしている人が増えてきました。この講座で介護の知識や制度を学ぶことができ、積極的に参加し、有意義で勉強になりました。」と今回の講座を振り返って挨拶しました。



全課程を修了した皆さん！
笑顔でハイチーズ☆

ボランティア担当から
〇〇への話

今日はボランティア活動をされる皆様へ「ボランティア活動保険」についてのお話です。

「ボランティア活動保険」は、ボランティア活動中に自分がケガをしてみたり、他人にケガをさせたり、他人の物を壊したり、他人の法律上の損害賠償責任を負った場合に補償となる保険です。活動する際には安全かつ安心して活動していただくための活動をする際は保険に加入することをお勧めします。

なお、この保険は加入の翌日から年度内の補償となります(例えば平成24年9月1日に保険加入したら、平成24年9月2日から平成25年3月31日までが補償期間になります)。また、保険料は加入タイプによって異なります(280円)。詳しくはボランティア担当または各社協支所の職員まで。

